

は、路建工業㈱、ペレッる森林を生かすために町長は本町の財産であ 重要である。 森一宗議員

け止めるべきか、環境の 我々の地域としてどう受 域にある環境を資源とし の取組を通じ、我々の地 問題、二酸化炭素の削減 る。この問題について ろな取組が行われてい 題は国家の課題という位 太陽光発電を含め環境 としてど いろい . の 問

置し、

戦略的な運用を図

予算の中に特別会計を設

取り組まなければならな 炭素削減事業に積極的に

い。その意味においても

ることが重要になると考

えるが。



太陽光発電(柚木地内)

※オフセッ

・クレジッ

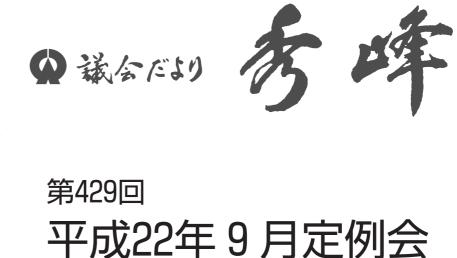
ト制度…自らの二酸化 \vdash ある。 総合的な考え方の上に ジット制度(※)に基づ 用、オフセッ 定例会に提案する予定でており、過疎計画等12月 立って対処すべきと考え くクレジットの発行等、 この問題についてはペ 在まで検討していない 置してはとの提案だが現 レット工場、 について、特別会計を設 岩﨑町長 太陽光発電等への取組 木材の利 \vdash -・クレ

により実現される一定の排出削減・吸収活動 ジット 吸収量を、市 室効果ガス排 通じて国内における温 一 力 I 削減・吸収で相殺する るための制度である。 する「オフセッ の品質が確保された温 吸収活動のより一層の 室効果ガス排出削減・ な部分をほかでの排出 炭素の排出削減が困難 └」の促進及びこれを ボン・オフセッ 」として認証す 場を流通 出 |削減・ ク \mathcal{V}



陽光発電等を控え二酸化進を提唱しているが、太ト工場の誘致、間伐の推

木質ペレット



ਭੁੰ について、町長はどのよである。このような現状 うにとらえているか。 目分の意志を投票にたく の責任を果たし、そして た ても参加できなくなっ 年代と違って、 うに選挙自体を軽く見る 義務を果たすという認識 る。選挙に参加して自分 齢者が選挙に参加したく を聞く。都会の若者のよ **所まで行けないという声** 便、身体的な衰えで投票 これは国民としての このことは重大であ 町内の高

いる。 組んでいきたいと考えて 果について前向きに取り 討していただき、 Ŋ Ć がないんだということで 考え、 向で住民が選挙に参加し か、 はなく積極的に取り組ん やすい方法について常に ならないと考えている 等しく保障されなければ んな問題を抱えている。 いくべきと考えてお 投票所の問題等いろ 選挙管理委員会で検 過疎地だから仕方 その 結



期日前投票所

事業に職員

へを県に出

発電の設置についてどのと、公共施設への太陽光

における二酸化炭素削減

になり、

大豊町では間伐

ι, Ę

間伐における取組

費用はほとんどかからな の制度を活用すれば町の

加することができるよう 炭素削減事業に優位に参



平成22年9月定例会

発行日/	/平成22年10月30日
責任者	議会議長 下村芳章
編集	議会広報編集特別委員会
事務局	大豊町高須231
電 話	0887-72-0468



たの参議院議員選挙の	1か所であるが、これを在、期日前投票所は町内
有権者は4576人、投	増やすことはできない
票者は3130人(期日	か。町長は選挙管理委員
前投票的人、不在者投票	会の意見も踏まえてと答
111人を含む)であり、1	えているが、このことに
446人の方が投票をさ	ついては委員会でも議論
れていない。この内投票	をされていると思われ
ができなかった方々の中	る。選挙管理委員長に今
に高齢者、交通の便が悪	までの経過と、期日前投
い、からだの不自由な方	票所を増やすことについ
がいると思われる。現	て聞く。

議会だより

劉秀